



八石小だより

【学校のキャッチフレーズ】

三方良し「児童良し、教師良し、保護者・地域良し」による、学校有用感あふれる八石小学校

新座市立八石小学校

令和7年度 NO.5

令和7年7月18日

新座市野寺2丁目8番45号

TEL 048-477-6701

児童数7月18日現在 287名

明日から夏休み

校長 川南 真一

【不易流行】

今年度の校長の学校経営方針の中で、教職員に向けて「目指す教師像」は、「八つの石（意思）をもった教師」（初志貫徹、率先垂範、不易流行、有言実行、現状打破、自他尊重、凡時徹底、英知結集）を示しました。（詳細は本校グランドデザインを見てください）その八つの中で今年度新たに柱にしたのが、「不易流行」です。

私としての「不易流行」の捉え方は、「教育の中にいつまでも変わらない本質的なもの（不易）を大切にしながらも、新しい変化のもの（流行）も取り入れ、共存していく」ことです。学校の中身というのは、昔も今も変わらないことが多いものです。学校独自のもの…学校教育目標、校歌、校帽、体育着、校舎など、学習の取組…1年生はあさがお観察、2年生は九九、3年生は習字・リコーダー、4年生からクラブ活動、5年生は家庭科裁縫、6年生は修学旅行などがすぐ浮かびます。学習規律やルール・きまり等…時代が変わっても教師の普遍的な指示は、「廊下は走らない」「忘れ物はしないこと」でしょうか。これは時を経ても大きく変わっていない、今でも大事にされている中身です。これからもそう大きく変わることはないと考えます。

反対に、学校は時代の流れを受けて変わってきているものも多くあります。学習の取組では、外国語（英語）や道徳が教科化、体育の保健学習は3年生から実施、水泳指導の民間委託、タブレット端末を活用した授業実践など。学習規律・ルール・きまり等では、水筒の常時持参、男女混合での活動またその逆で配慮する場面、きまり・ルールの文章・内容は毎年見直され、大枠として文章化されたものは減少しています。反面、規制しなければならない範囲は拡大されている状況はあります。

時代に合った、必要な学校運営～授業実践を常に心がけていかなければならないと考え

ますが、本校における以前から行っている、大事にしていることを今後も貫き通していきたいという考えもあります。今後も双方のよさを常に考え、2学期以降も学校運営に取り組む所存です。

本日1学期終業式を迎え、明日から夏季休業日となります。ここまで教育計画に基づき教育活動（各教科等・学校行事）ができました。また、外部指導者も多く招聘し、授業実践できました。保護者地域の方々のご協力で、学びやすい学習環境が維持でき、今日の日が迎えられたと実感しております。感謝申し上げますとともに、2学期以降も引き続きご理解ご協力賜りたいと存じます。本格的な暑さが訪れそうですが、それぞれのご家庭で有意義な夏をお過ごしいただければ幸いです。

【校長からの課題】

夏季休業中に校長から全児童に課題を出しました（夏休み新聞）。どんな夏休みだったか、新聞記者になったつもりで作成してもらえればと考えます。9月1日に提出し、2学期初めに全校で見合えるようにします。

6月下旬までに、今年も八石小1日校長が3名就任しました。児童にとってやってみたい役割の一つになってきました。



今月は熱中症対策の取組で、テレビ朝日、フジテレビが取材で来校されました。